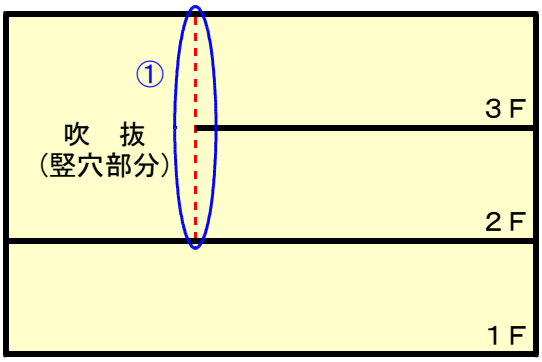
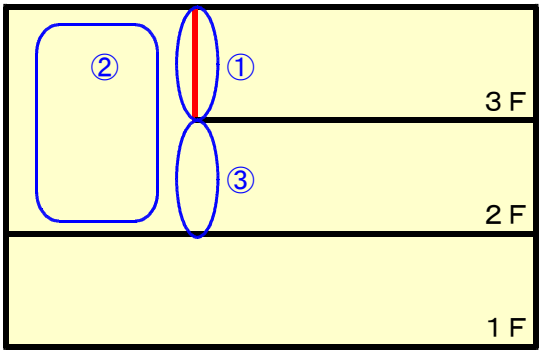
webサポート資料

建築士の塾 by archicom

吹抜部分の竪穴区画（令第112条第11項）



①吹抜部分（竪穴部分）については、竪穴以外の部分と準耐火構造の壁又は法第２条第九号の二ロに規定する防火設備で区画する。



①中間階を含む２層の上部を開口部のない耐火構造の壁で区画する。

②２層で①のようにした場合、吹抜として扱わない。

＊「建築物の防火避難規定の解説2012」アフターフォロー質問と回答（日本建築行政会議）より

③吹抜部分（竪穴部分）に該当しないので、竪穴区画の必要がない。

上記については、平成30年「健康づくりのためのスポーツ施設」の標準解答例②において、２階に計画されている多目的スポーツ室と温水プール室の区画の違いで示されている。

© archicom Co.,Ltd.